

〔事例7〕むしろ瀬

徳之島の有名な観光地の一つである。筵を敷いたような平な石がいくつも並んでおり、他方、荒々しい石も立っている。このような景観はめずらしい。筆者はなぜ、豊瀬でないのだろうと思う。庶民が豊を使えるようになったのは何時頃だろうか（注5）。次の文章を見つけた。

（注5）①『南島誌』と『各島村法』（久野謙次郎手記、奄美社、1954年）は、明治6年大蔵省や県の一行が9ヶ月もかけて大島郡各地を調査。その報告書であります。その家屋「床は板を用ひず、竹を編みてこれに代え、上に筵を敷く」（106頁）とあります。沖永良部島の所にあるのですが、徳之島なども同じだったと思われます。筵はムッシュ。豊は？

②徳之島には多くの石の文化があり、謎で解らないことがあります。その一つに線刻画。7ヶ所ほどあり、松山光秀氏、徳富重成氏などが研究の成果を発表しておりますが、解決されたでしょうか。なお、小稿も日本文化研究所、総合地球環境学研究所との連携研究の「自然と文化」の国立国語研究所「昔がたり」研究会で発表した「奄美諸島の昔がたりに観る自然と文化—徳之島を中心—」と一部重なっていることを記しておきます。

<p>がくぶち屋</p> <p>額縁・額装・絵画・画材・表装・肖像画</p> <p>http://www.setuzando.co.jp</p> <p>有限会社 雪山堂</p> <p>会 長 雪山 渥美</p> <p>社 長 雪山 靖</p> <p>●浦和店 コルソ 4F(伊勢丹) TEL.048-824-5398</p> <p>●上尾店 ショープラザ 4F(ヨカ堂) TEL.048-774-0163</p> <p>●事務所 〒336-0974 さいたま市緑区大崎 2562-1 工房 TEL 048-812-1341 FAX 048-812-1342</p> <p>Email: setuzando@diary.ocn.ne.jp</p>	<p>額・絵画・製造・全国販売 株式会社 アルナ</p> <p>会 長 雪山 渥美</p> <p>社 長 雪山 大</p> <p>本社 〒336-0974 埼玉県さいたま市緑区大崎 2562-26 TEL 048-878-4811(代表) FAX 048-878-4823</p> <p>鹿児島工場 〒895-0053 鹿児島県薩摩川内市冷水町上床 551-7 TEL 0996-27-0881 FAX 0996-27-0882</p> <p>福岡営業所 〒816-0992 福岡県大野城市山田 4-18-3 TEL 092-592-0745 FAX 092-581-9088</p> <p>ホームページ http://www.aluna.co.jp Email: president@aluna.co.jp</p>
---	--

<p>島の恵を伝えたい。 島の恵を届けたい。 島の恵を残したい。</p> <p>徳之島の原材料海塩・黒糖・モリンガオイル、ギニアのシアバターを使用した美容石けん（ゆいの島石けん）、オイル二チン・アセロラ・長命草エキス入りサンコンウコン</p> <p>奄美海援隊株式会社</p> <p>代表取締役 小林 正人</p> <p>本社：鹿児島県大島郡徳之島町亀津 3679 番地 8 東京支社：東京都葛飾区新小岩 1-56-14-307 メール：amami-1009@mx2.alpha-web.ne.jp</p>	<p>NPO 法人徳之島「夢」振興会議 相談役 関東徳之島町会顧問 関東神校会顧問</p> <p>村岡 清 男</p> <p>（井之川出身 82才）</p> <p>「夢」振設立企画委員の一人として尽力、故郷徳之島に南国のきれいな花をいっぱい植えて、わきゃ島の美ら島づくりプロジェクトを提唱、島の花いっぱい運動は全国各地の島関係者にも呼びかけてこれからもずっと続けましょう！</p> <p>〒195-0061 東京都町田市鶴川 3-4 TEL/FAX: 042-734-2938 携帯電話 090-3406-5566 Mail: s822@Pony.ocn.ne.jp</p>
--	---

NPO 法人徳之島「夢」振興会議

理事長

横田 捷宏

(伊仙町出身)

メール：k-yokota@y8.dion.ne.jp

産業用太陽光発電所立上事業

土地仕入・造成工事・行政手続

設備設計・設計管理・施工工事

〒101-0061

東京都千代田区三崎町 2-4-1

TUG-I ビル 11階

エナジー22株式会社

代表取締役

井藤 守仁

冷暖房設備・給排水衛生・空気調和工事
各設備施工・各保守サービス・電気

東菱工業株式会社

代表取締役
経営管理者

藤本 勝博

取締役
専任技術者

藤本 修磨

〒154-0011 本店：東京都世田谷区上馬 1-10-17

TEL：03-3424-5321（代表）

琉球料理&琉球舞踊

座 みやらび

川田 功子（池袋駅北口ときわ通り）

琉球舞踊鑑賞の夕べ（水・金 8時 30分より）

〒171-0014 東京都豊島区池袋 2-45-1 アークシティ池袋 B1

TEL/FAX:03-3971-5061 <http://miyarabi.fukugi.com>

<http://r.gnavi.co.jp/gc61000/>

関東母間郷友会

私たちの郷友会は次の役員を中心にして活動しています。

皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願ひ申し上げます。

会長 藤本 勝博

幹事長 藤原 出

〒206-0812 東京都稲城市矢野口 1032-8

TEL：042-378-3611 FAX：042-378-5114

先達のふる里思う篤実さ
節くれた指働き者だ父の指

「夢」振理事 とちょう川柳会 信 寛良

(徳之島町花徳出身)

〒350-0216 埼玉県坂戸市柳町 13-3

TEL/FAX:049-281-8519

E mail:sansin_nobu@jcn-knt.jp

朝日歌壇の創設は明治 43 年である。当初の選者は石川啄木であった。翻って、現在は四選者 (馬場あき子・佐々木幸綱・高野公彦・永田和宏) 共撰の体制を組み今日に至っている。因みに、選者の中の一人高野公彦は過去に宮終二選に入った歌歴を持つ。こうして朝日歌壇への投稿をその初発として歌人として巣立って行った人達に道浦母都子・中川佐和子・渡辺松男・渡辺幸一などがいる。

私は投稿した試はないが朝日歌壇に親しんでから久しい。そこで、標題に沿って常連と呼べる投稿者 (歌人) を次に幾人か挙げて紹介することとしたい。

1. 中・高生歌人—松田わこ・梨子

- (1) 万緑の源氏物語ミュージアムまだ恋知らぬ二人子連れて (富山市) 松田由紀子
- (2) 子の髪を編み込みしてやりながら誰と行くのか聞けないでいる 松田由紀子
- (3) 私たち先輩だねと盛り上がる入学式の受付係 松田わこ
- (4) 12 歳すてきな響き 12 歳オルガンのように優しい響き 松田わこ
- (5) 高校まで徒歩で 7 分今のところトキメキはなくて穏やかな道 松田梨子
- (6) 決断ができない私にグッドバイ 20 センチの髪と一緒に 松田梨子

富山市在住の松田梨子・わこは姉妹関係にありこの春に姉は高校 2 年生、妹のわこは中学 2 年に進級したばかりで母親を歌人 (松田由紀子) に持つ姉妹にはすでに歌集『リコピンがある』(平成 25 年 8 月 25 日 角川書店) もある。姉妹が常連となって数年が経過している。掲出歌の 1,2 首目には年頃の娘を持つ母親の心境が鮮やかに詠まれている。さらに、同 3~6 首目にはこの年代にしか会得が叶わない閃きや感性が表現されている。松田姉妹の朝日歌壇の登壇はほぼ毎週と言ってよく各選者の共選もしばしばである。

2. 中歌人—郷隼人獄

本年 5 月 11 日付けの朝日歌壇は奇しくも三選者共選で松田わこと並んで郷隼人を採っている。人選歌は次の通りである。

- (7) 海恋し 2 1 年見ていない泳いでいない釣りしていない

作者名の郷隼人はペン・ネームで字面から察しても出身は鹿児島県であることが知れよう。米獄中から塀の中の生活を具 (つぶさ) に綴って投稿を続けている。彼にも松田姉妹同様『獄中からの手紙』(平成 26 年 2 月 20 日 幻冬舎) の歌集がある。およそ 20 年来の常連である。

3. ホームレス歌人—公田耕一

前述の郷隼人がこのホームレス歌人を詠んだ入選歌に次の詠草がある。

- (8) 囚人の己が (ホームレス公田) 想いつつ食 (は) む HOT MEAL を

平成 20 年から翌年にかけて一時期話題をさらった公田耕一は次の投稿歌第一作目を皮切りに期間中、28 首の入選作を投稿して歌壇を去った。彼の作歌活動は終焉した。

- (9) 〈柔らかい時計〉を持ちて炊き出しのカレーの列に 2 時間並ぶ

(注) 括弧書きは「ダリの時計」とされる。

ご参考までに最後の入選歌を記しておきたい。

- (10) 瓢箪 (ひょうたん) の鉢植ゑを売る店先に軽風立てば瓢箪揺れる (永田和宏選)

異論は承知の上であるが私は以上 4 人の投稿者 (歌人) を以て朝日歌壇の常連としたい。

次は土岐邦成歌集の一部を紹介

些かの冬仕度あり我が家の奄美の蘇鉄菰に巻きたる
庭に咲く朝鮮菊を携えて妹夫婦と墓参に向かふ
妹は墓に水かけ香を炷き在りし日のごと父母を呼ぶ
故里の寺の本堂に肅然と坐れる吾らの汗のひきゆく
梨狩りに集ひし仲間と乗りしバス遠足気分の吾らを運ぶ
木犀の香ただよふ古民家にはしり蕎麦食ふ音立てて食ふ
木犀の溢れくる香に共の忌の近きを思ふ早 13 回忌

『 島の日常はタカラモノの宝庫 』

徳之島観光連盟 事務局長 丸野 清

徳之島「夢」振興会議会員の皆様をはじめとする郷土会の皆様、日頃は遠くから故郷「徳之島」を支えていただき心から厚くお礼申し上げます。

また今回は徳之島観光連盟近況報告 寄稿の機会を頂き併せて感謝申し上げます。

さて、昨今は旅行(観光)のスタイルもバスで移動する団体旅行から「集落歩き」や「エコツーリズム」「グリーンツーリズム」などに代表されるように2名～5名ほどで移動する少人数旅行になり「心の豊かさを求める旅行」に移行しているようです。

「2040年に国内の自治体ほぼ半分が消滅する」そんな衝撃的なニュースを聞いたことがあります。人口減、少子高齢化、過疎は徳之島に限らず日本中どこの地方にもいえることでしょう。徳之島も他の地域と同じように官民一体となり、故郷創生に取り組んでいるところです。そんな中、徳之島が世界自然遺産候補地として脚光を浴びるようになりました。そもそも観光とは中国の古書からきた言葉で「隣国の光を観に行く」「隣の国や地域の輝いているところを観に行くこと」、徳之島は他の地域に負けない素晴らしい財産の宝庫だと思います。

世界自然遺産候補となったことは先人達が残してくれた「自然」「伝統文化」「風習」などを後生に伝える為に与えられるもの、きちっと子孫につなぎ、さらにはぜひこの宝を世界中の皆さんに見ていただきたいと思っております。

また、特に近年新しい観光資源(宝)として注目されているのが、島の日常です。この数年メディアに徳之島が頻繁に登場するようになりました。これまでの徳之島観光の要素である「長寿・子宝・闘牛」に加え、私たちの日常生活そのものが「宝」であり「島の暮らしが観光資源」と見直される時代になりました。

「玉子おにぎり」や「ぶるばん」がテレビに登場したことは記憶に新しいと思います。

そして観光客が来島して何より驚くのは、夕方 闘牛の牛がトレーニングで道路をゆったりと歩いている光景「牛の散歩」です。「デカイ牛が道路を歩いてる」とみんなが口にします。つまり私たち島人の当たり前は旅人にはとても感動の連続であるということです。「島の常識」は「都会の非常識」、「島人の日常」は「都会人の非日常」、だからこそ「感動がある」ことにやっと気づきはじめました。

徳之島観光連盟は、現在 約150の団体と個人の会員で組織されており、浜口会長を先頭に来るべき世界自然遺産登録を見据え会員一丸となり「島の日常を上手く観光に活かす島」をめざし日々事業に邁進しております。

徳之島の日常がしっかりと来島する観光客の「おもてなし」になるよう取り組んで参ります。今後ともご指導ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。

おぼらだれん。

2015年9月吉日

徳之島町畦海水浴場



伊仙町喜念浜海水浴場



現在、「奄美・琉球」が世界自然遺産登録を目指していることをご存じですか。このクラスでは、奄美群島の中でも貴重な自然環境と闘牛など独特の文化を持つ徳之島を取り上げます。ウミガメが産卵に訪れる砂浜、アマミノクロウサギが住む深い山々。また、夜光貝細工の歴史や闘牛文化など、徳之島の独特な自然や文化について、その魅力を学びます。フィールドワークで訪れる頃には、あなたも徳之島に恋するひとり。



闘牛用牛の散歩風景



伊仙町西犬田布 島食堂(ましゅ屋)

◇ Total Support Business ◇

株式会社 ユイワーク・サポート

代表取締役 **宮原 たつ子** (松原出身)

〒141-0022 東京都品川区東五反田 3-20-10-101

TEL.03-5449-8320 FAX.03-5449-0347

mail:info@yui-work.net

URL: <http://www.yui-work.net>

事業内容

■業務代行サービス

- ・ 電話受付、通販受付等のコールセンター業務
- ・ データー入力及び事務処理代行サービス

■インターネット関連

- ・ 会員向け高速メール配信ソフト販売
- ・ ホームページ制作
- ・ SEO 等、IT 関連サービスコンテンツの提供

■その他

- ・ NPO 法人徳之島「夢」振興会議 協力事業
(徳之島産直品・・・タンカン、マンゴー、黒糖焼酎他の物産)

相撲甚句 「夢」振興会 (平成 18 年発表)

作詞 元力士：一ノ矢 (大相撲初の国立大出身力士)

本名 松田哲博 (徳和瀬出身)

(ハアー ドスコイ ドスコイ) ♪ハアーエー (ハアー ドスコイ ドスコイ) 故郷離れて 幾年月ヨ
(ハアー ドスコイドスコイ)ハアー いつも心に 徳之島 青い海山 さとうきびチュッキヤイ節の
三線(さんしん)の 唄にゆれる 赤花のハイビスカスやガジュマルと 全島一(ぜんとういち)の闘牛で
熱き心を滾(たぎ)らせて 生きてきました 大和世(やまとうゆ)で せめて少しの恩返しフラワーロードに
夢託しワイド祭りで 輪を広げ 山古志村まで 夢振興 この度目出度く NPO キバレー 島人(しまんちゆ)
ヨーホホイ ハアー 夢振興会ヨー (ハアー ドスコイ ドスコイ) ♪